

表1 難燃繊維加工施設の排出実態調査結果（H19年度）

		臭素化ダイオキシン類（PBDDs/PBDFs）				
		実測濃度			毒性等量相当値（参考値）	
		検出頻度 (検出数/調査数)	平均値	濃度範囲	平均値	濃度範囲
排出水等	処理後 総合排水	8/8	12,000 pg/L	18~37,000 pg/L	20 pg-TEQ/L	0.15~62 pg-TEQ/L
	処理前 総合排水	6/6	17,000 pg/L	560~37,000 pg/L	28 pg-TEQ/L	1.3~63 pg-TEQ/L

※臭素化ダイオキシン類の毒性等量相当値は、WHO-TEF(1998)による PCDDs/DFs の TEF に準じて算出した参考値である。毒性等量相当値は、ND=0 で算出。

表2 難燃プラスチック製造施設の排出実態調査結果（平成20年度）

		臭素化ダイオキシン類（PBDDs/PBDFs）				
		実測濃度			毒性等量相当値（参考値）	
		検出頻度 (検出数/調査数)	平均値	濃度範囲	平均値	濃度範囲
排出ガス		3/3	0.063 ng/m ³ N	0.010~0.10 ng/m ³ N	0.00016 ng-TEQ/m ³ N	0.000084~0.00024 ng-TEQ/m ³ N
排出水等	総合排水	0/2	— pg/L	ND	0 pg-TEQ/L	0 pg-TEQ/L
	工程排水	1/1	15,000 pg/L	15,000 pg/L	0.083 pg-TEQ/L	0.083 pg-TEQ/L
建屋内濃度		1/1	5.3 pg/m ³	5.3 pg/m ³	0.0081 pg-TEQ/m ³	0.0081 pg-TEQ/m ³

※排出水等の「総合排水」は処理後の総合排水である。

※表中の ND は、検出下限値未満であることを示す。

※臭素化ダイオキシン類の毒性等量相当値は、WHO-TEF(2006)による PCDDs/DFs の TEF に準じて算出した参考値である。毒性等量相当値は、ND=0 で算出。

表3 難燃プラスチック製造施設の周辺環境調査結果（平成20年度）

		臭素化ダイオキシン類（PBDDs/PBDFs）				
		実測濃度			毒性等量相当値（参考値）	
		検出頻度 (検出数/調査数)	平均値	濃度範囲	平均値	濃度範囲
環境大気		4/4	5.1 pg/m ³	4.1~5.8 pg/m ³	0.022 pg-TEQ/m ³	0.0045~0.044 pg-TEQ/m ³
降下ばいじん		2/2	2,800 pg/(m ² ·day)	610~4,900 pg/(m ² ·day)	12 pg-TEQ/(m ² ·day)	1.9~23 pg-TEQ/(m ² ·day)
公水 共質 用水域	河川上流・排出 口から離れた 海域	2/2	5.3 pg/L	3.3~7.3 pg/L	0.010 pg-TEQ/L	0.010 pg-TEQ/L
	河川下流・排出 口付近海域	2/2	23 pg/L	13~32 pg/L	0.023 pg-TEQ/L	0.020~0.026 pg-TEQ/L
公底 共質 用水域	河川上流・排出 口から離れた 海域	2/2	320 pg/g-dry	8.5~640 pg/g-dry	5.5 pg-TEQ/g-dry	0.0078~11 pg-TEQ/g-dry
	河川下流・排出 口付近海域	2/2	610 pg/g-dry	120~1,100 pg/g-dry	4.1 pg-TEQ/g-dry	0.50~7.7 pg-TEQ/g-dry

※臭素化ダイオキシン類の毒性等量相当値は、WHO-TEF(2006)による PCDDs/DFs の TEF に準じて算出した参考値である。毒性等量相当値は、ND=0 で算出。